

横濱正金銀行の中国借款・对外投资のほぼ全容を収める

横濱正金銀行 第4期

マイクロフィルム版

編集：武田 晴 人（東京大学大学院経済学研究科 教授）

発売：丸善株式会社



北京支店

16ミリマイクロフィルム 全151リール セット特価¥3,020,000 (税別)

第4期(全3集)の構成 (価格はいずれも税別)

第1集：中国借款(第3期の続き)	81リール (リール番号 0320-0400)	¥1,863,000
第2集：对外投资	34リール (リール番号 0401-0434)	¥782,000
第3集：対外協定	36リール (リール番号 0435-0470)	¥828,000

第4期では、明治後半期から両世界大戦間期にかけて、横濱正金銀行が関わった対中国関係の借款関係資料を第3期に引き続いて収録するとともに、对外投资に関わる諸資料、主として戦時期にかけての欧米支店を中心とする対外協定関係の書類綴りを収録している。

対中国借款では、第3期が政府借款を中心としていたのに対し、漢冶萍公司借款及び裕繁公司借款など鉄鋼資源開発に関わる資料群など重要な資料が含まれている。漢冶萍だけで80冊に近い資料群は、新しい発見を期待させるものである。また、北支那開発、中支那開発、東亜興業、中日実業などの諸会社に関する諸借款、満洲鉄道、四鄭鉄道などの鉄道会社関係など広範にわたる横濱正金銀行の対中国投資への関与を裏付ける資料群である。

对外投资関係では、第一次大戦期に開始されたフランス国庫証券のほか、東京市、大阪市などの市債発行、満鉄社債発行など、さらに横濱正金銀行が保有していた外貨債などの取扱に関わる記録類を収録している。

対外協定では、準戦時から戦時体制へと推移する中で、厳しい為替管理の下で必要となった国際金融に関わる協定等を収録している。これらは主として欧米支店が関与した金融支払い協定などに関する書類が中心であるが、その範囲は中南米などにも及び、さらにドイツと満洲国との協定など地域的には、欧米に限定されていないものである。



ニューヨーク支店

出版・販売

 丸善雄松堂

未公開資料に見るその創立から閉鎖まで

横濱正金銀行

マイクロフィルム版

編集：武田 晴 人（東京大学大学院経済学研究科 教授）

‘生みの親’大隈重信、‘後見役’福沢諭吉、‘育ての親’松方正義と称され、明治末期には後に日銀総裁、大蔵大臣、総理大臣をも歴任した高橋是清を頭取とするなど、日銀とともに国家財政と内外金融の要路を占めた横濱正金銀行の足跡を精緻に記した記念碑的史料の復刻。



※下記価格はいずれも税別、なお集単位の分売時には、リール単価¥23,000（税別）となります。

第1期 16ミリフィルム 全227リール セット特価¥4,540,000（税別）

- 第1集：重役会・総会・支店長（全19リール）
- 第2集：要録（全33リール）
- 第3集：考課状・半季報告 監査・決算諸表（全36リール）
- 第4集：諸願伺 指令・諸官（全25リール）
- 第5集：通達・通報（全18リール）
- 第6集：行報 調査資料ほか 岸資料（全33リール）
- 第7集：大蔵省 外務省 日本銀行（全63リール）

第2期 16ミリフィルム 全156リール セット特価¥3,120,000（税別）

- 第1集：支店（全38リール・リール番号001-038）
- 第2集：日銀代理店（全37リール・リール番号 038-074）
- 第3集：正貨（全39リール・リール番号074-0112）
- 第4集：岸資料（全10リール・リール番号0113-0122）
- 第5集：支店期末勘定（全35リール・リール番号0122-0156）

*重複リールについてのご請求は1本分だけです。

第1期補遺 16ミリフィルム 全49リール セット特価¥980,000（税別）

- 第1期第5集（通達・通報）補遺（全13リール）
- 第1期第6集（調査資料ほか）補遺（全36リール）

第3期補遺 16ミリフィルム 全163リール セット特価¥3,260,000（税別）

- 第1集：支店（景況）報告（全77リール）
- 第2集：上海支店資料（全22リール）
- 第3集：大連支店資料（全14リール）
- 第4集：対中国借款1（全50リール）

M MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部 開発部 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町10-10

Tel: 03-3357-1449 Fax: 03-4335-9419 Email: archives@maruzen.co.jp <http://myrp.maruzen.co.jp/>

May2017